



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 綱嶋 耕二

TEL 086-246-0309

四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	50,223	2.4	5,405	△1.4	5,668	0.2	3,537	5.9
28年3月期第3四半期	49,031	8.9	5,482	△1.5	5,656	1.1	3,340	4.7

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 3,562百万円 (6.9%) 28年3月期第3四半期 3,332百万円 (4.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	159.26	—
28年3月期第3四半期	150.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	55,413	44,403	80.1
28年3月期	53,262	42,263	79.3

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 44,403百万円 28年3月期 42,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	29.00	—	33.00	62.00
29年3月期	—	31.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	31.00	62.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,394	3.5	7,922	2.3	8,200	3.2	4,655	5.8	209.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
(注)当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	22,777,370 株	28年3月期	22,777,370 株
29年3月期3Q	563,696 株	28年3月期	563,544 株
29年3月期3Q	22,213,752 株	28年3月期3Q	22,214,047 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報 「参考資料」	10
(1) 仕入実績	10
(2) 販売実績	10
(3) 種類別販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の回復は継続している一方で、新興国経済の減速や企業収益の改善に停滞感がみられ、株価や為替相場にも不安定な動きがみられるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、消費者マインドの冷え込みによる個人消費の低迷や労働力不足のさらなる強まりに伴う人件費の上昇など、依然として厳しい経営環境が継続しつつ推移いたしました。

このような中、当社グループにおきましては、お客様満足度向上のための店舗改装や新メニューの開発と投入に注力し、中長期での安定的な成長を見据えた新規出店やサービス力向上のための教育研修等を継続的に推進してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営店5店舗、ベーカリーレストラン・パケット直営店5店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店15店舗、神戸元町ドリア直営店6店舗、サンマルクカフェ直営店20店舗、倉式珈琲店直営店8店舗をそれぞれ出店（当第3四半期連結累計期間出店数：直営店59店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第3四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店834店舗、フランチャイズ店59店舗、合計893店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高502億23百万円（前年同期比2.4%増）、経常利益56億68百万円（同0.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益35億37百万円（同5.9%増）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は277億90百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は30億9百万円（同8.9%減）となりました。

喫茶事業売上高は224億33百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は33億53百万円（同9.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は554億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して21億51百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は140億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億42百万円の増加となりました。これは主に未払法人税等の支払、事業拡充に伴う新規出店の有形固定資産の取得等に伴い現金及び預金が4億90百万円減少した一方、売掛金が8億3百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は413億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億8百万円の増加となりました。これは事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が7億56百万円、土地が5億20百万円それぞれ増加したこと、非連結子会社への貸付等により、投資その他の資産のその他が2億94百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は70億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億66百万円の減少となりました。これは未払金が3億50百万円増加した一方、未払法人税等が12億51百万円、リース債務が68百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は39億96百万円となり前連結会計年度末と比較して7億77百万円の増加となりました。これは主に直営店出店に伴う資産除去債務が2億22百万円、店舗設備の割賦購入による長期未払金が5億49百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して21億40百万円増加して444億3百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月14日の四半期決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,404,073	8,913,632
売掛金	3,282,954	4,086,896
商品	150	111
原材料及び貯蔵品	283,105	362,134
その他	640,452	692,519
貸倒引当金	△16,122	△18,010
流動資産合計	13,594,614	14,037,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,819,774	21,575,988
土地	3,323,790	3,844,626
その他(純額)	2,216,191	2,277,624
有形固定資産合計	26,359,756	27,698,240
無形固定資産		
その他	181,406	167,681
無形固定資産合計	181,406	167,681
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,364,202	9,453,371
その他	3,762,432	4,057,088
貸倒引当金	△84	△84
投資その他の資産合計	13,126,550	13,510,376
固定資産合計	39,667,714	41,376,297
資産合計	53,262,328	55,413,582
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,201,945	2,269,067
未払金	2,857,698	3,208,328
未払法人税等	1,820,246	569,181
引当金	62,768	194,534
資産除去債務	18,698	30,621
その他	819,059	741,852
流動負債合計	7,780,417	7,013,586
固定負債		
退職給付に係る負債	150,726	165,303
資産除去債務	2,622,201	2,845,172
その他	445,699	985,756
固定負債合計	3,218,627	3,996,232
負債合計	10,999,044	11,009,818

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,039,016	3,039,016
利益剰余金	38,729,362	40,845,375
自己株式	△1,254,538	△1,254,991
株主資本合計	42,245,019	44,360,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,265	43,186
その他の包括利益累計額合計	18,265	43,186
純資産合計	42,263,284	44,403,764
負債純資産合計	53,262,328	55,413,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	49,031,786	50,223,627
売上原価	10,796,575	10,996,134
売上総利益	38,235,211	39,227,493
販売費及び一般管理費	32,752,642	33,821,532
営業利益	5,482,569	5,405,961
営業外収益		
受取利息	7,075	6,428
受取配当金	4,473	3,652
受取賃貸料	107,304	104,389
受取補償金	150,048	216,978
その他	32,713	36,903
営業外収益合計	301,615	368,353
営業外費用		
支払賃借料	91,837	90,368
その他	36,121	15,792
営業外費用合計	127,959	106,161
経常利益	5,656,225	5,668,153
特別利益		
投資有価証券売却益	—	36,536
特別利益合計	—	36,536
特別損失		
固定資産除却損	277,781	154,949
減損損失	57,252	58,047
特別損失合計	335,033	212,996
税金等調整前四半期純利益	5,321,191	5,491,692
法人税、住民税及び事業税	2,133,868	2,017,375
法人税等調整額	△152,897	△63,378
法人税等合計	1,980,970	1,953,997
四半期純利益	3,340,221	3,537,695
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,340,221	3,537,695

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	3,340,221	3,537,695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,953	24,921
その他の包括利益合計	△7,953	24,921
四半期包括利益	3,332,267	3,562,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,332,267	3,562,616
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 2
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	27,750,578	21,281,208	49,031,786	—	49,031,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	27,750,578	21,281,208	49,031,786	—	49,031,786
セグメント利益	3,301,950	3,063,048	6,364,998	△882,429	5,482,569

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用882,429千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、のれんの金額の重要な変動は認識していないため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 2
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	27,790,080	22,433,547	50,223,627	—	50,223,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	27,790,080	22,433,547	50,223,627	—	50,223,627
セグメント利益	3,009,669	3,353,017	6,362,687	△956,725	5,405,961

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用956,725千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

「参考資料」

(1) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	6,627,119	99.9
喫茶	4,422,375	105.1
合計	11,049,494	101.9

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	27,790,080	100.1
喫茶	22,433,547	105.4
合計	50,223,627	102.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第3四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	26,654,640	101.0	218,136	75.6	917,304	85.9	27,790,080	100.1
喫茶	22,064,971	105.6	40,974	64.5	327,601	101.9	22,433,547	105.4
合計	48,719,611	103.0	259,110	73.6	1,244,905	89.6	50,223,627	102.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。